

**【島のくらしの情報】**

**加計呂麻島・請島・与路島**

<p>①仕事（収入）の状況</p>	<p>・島には、農業、クロマグロや真珠、クルマエビの養殖業をはじめとした第一次産業従事者や建設業従事者が多くいます。</p> <p>・移住するためには、お住まいと同時に仕事は重要だと思います。これまでやっていた仕事をこれからも続けたい、今までとは違う事にチャレンジしたいなど希望どおりの求人があるか、事前に求人情報等を確認することをお勧めします。</p> <p>・賃金等についても、都会に比べると少ないのが現実です。</p> <p>※贅沢しなければ、十分に生活できます。</p> <p>●お問い合わせ：瀬戸内町役場企画課 電話：0997-72-1112          ※求人情報については、瀬戸内町役場商工観光課 電話：0997-72-1115</p>
<p>②住居の状況（貸家、空き家など）</p>	<p>・空き家バンク制度がありますが、現在、掲載物件がない状態です。準備ができ次第随時更新していきます。</p> <p>・移住体験住宅を活用して、住みたいと思う集落や空き家を探すのも一つの方法です。</p> <p>○移住体験住宅とは・・・加計呂麻島へ移住を考えている方のために、島の暮らしを体験してもらうための住宅です。（1日2,000円、1カ月50,000円、光熱費込み。利用期間は、1週間以上～6か月間の範囲内となります。）</p> <p>・気に入った集落等がありましたら、その集落の区長さんとお引き合わせをいたします。そこで、集落の話を聞き、つながりをつくるのが空き家探しの近道です。</p> <p>●お問い合わせ先：瀬戸内町役場企画課 電話：0997-72-1112</p>
<p>③医療環境の状況</p>	<p>・加計呂麻島に診療所が1ヶ所。緊急時には、ドクターヘリで加計呂麻島から飛行時間約5分、請島、与路島から約8分で奄美大島本土にある救急救命センターへ搬送可能です。</p> <p>・加計呂麻島、請島、与路島には産婦人科はありません。奄美大島本島側の病院での健診、出産となります。</p> <p>●お問い合わせ：瀬戸内町役場保健福祉課 電話：0997-72-1068</p>
<p>④福祉環境の状況</p>	<p>・加計呂麻島に老人福祉施設が1ヶ所あり、デイサービスや短期入所サービスを提供しています。</p> <p>●お問い合わせ先：瀬戸内町役場保健福祉課 電話：0997-72-1068</p>

<p>⑤教育環境の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加計呂麻島には、小学校5校、中学校3校、請島、与路島には、小学校が各1校あります。そのほとんどの学校が腹式学級となっています。</li> <li>・加計呂麻島、請島、与路島の各学校にはプールはありません。水泳の授業は、海で行います。</li> <li>・年に数回、近隣の学校が1校に集まって、集合学習を行います。</li> </ul> <p>●お問い合わせ先：瀬戸内町教育委員会    電話：0997-72-0113</p>
<p>⑥上下水道・電気・ガスの状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道は、各集落ごとの簡易水道です。下水道はありません。</li> <li>・ガスはプロパン、電気は、九州電力からの供給です。</li> </ul> <p>●お問い合わせ先：瀬戸内町役場水道課    電話：0997-72-1057（水道関係）</p>
<p>⑦本土との交通手段（費用、時間、便数など）</p>	<p>○鹿児島から飛行機・フェリー ⇒ 車・バス ⇒ 古仁屋から船（フェリー）</p> <p><b>【航路】 フェリー</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（鹿児島⇄名瀬）鹿児島新港より奄美大島名瀬新港までフェリーで夕方6:00発、翌朝5:00着（約11時間）、（上下便共に1日1便、片道9,050円、往復17,200円）</li> <li>・（鹿児島⇄古仁屋）鹿児島北埠頭より古仁屋港までフェリーで夕方5:30発、翌朝9:40着（約16時間）、（鹿児島発：月～金曜日、古仁屋着：火から土曜日    片道10,390円、往復19,750円）</li> </ul> <p><b>【空路】 鹿児島⇄奄美（JAL）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿児島空港から奄美空港まで約1時間、（上下便共に1日7便）、（通常期）大人25,900円 ※詳しい費用については、航空会社へご確認ください。</li> </ul> <p><b>【車・バス】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奄美空港から車で約1時間40分、名瀬新港から車で約1時間。</li> <li>・奄美空港よりバスで約2時間（2,650円）、名瀬新港からバスで約1時間（1,100円）</li> </ul> <p>※奄美空港からバスを利用される方は、1日フリーパスを購入すると、大人2,100円、小人1,050円とお得です。</p> <p>※奄美空港から古仁屋までのバスは、名瀬で乗り換えが必要となります。（名瀬→古仁屋 1日10便）</p> <p><b>【定期船】</b></p> <p>※島の情報③をご参照ください。</p>

<p>⑧島内の交通手段（費用、便数など）</p>	<p><b>【加計呂麻島】</b>  ・移動手段はバス又はレンタカーです。電動自転車のレンタルもあります。ご予約は、加計呂麻島展示体験交流館まで（電話：0997-76-0676）  ・タクシーはありません。  ・加計呂麻島のバスは、全便、フェリーかけろまの運航時間に合せて、運行しています。  ・加計呂麻島のレンタカーは、台数が少ないので早めの予約が必要です。奄美大島本島側からフェリーで車を航送するなら、1週間前から予約が可能です。</p> <p><b>【請島・与路島】</b>  ・タクシー、バス、レンタカーなど交通機関はありません。宿に連絡をして借りられないか等は交渉を！  ※船にて1台航送することも可能です。事前にご予約をすることをお勧めします。  ※曜日によって、発着時間が違いますので、事前にご確認を。</p> <p>●お問い合わせ先：瀬戸内町役場商工観光課 電話：0997-72-1115</p>
<p>⑨買い物場所・物価の状況</p>	<p>・買い物は、主に日用品、食料品です。衣服や家具、家電の販売は、ほぼありません。</p> <p><b>【加計呂麻島】</b>  ・スーパー、コンビニはありません。商店が数件あり、移動販売車が巡回しています。</p> <p><b>【請島・与路島】</b>  ・スーパー、コンビニはありません。商店が数件あります。</p> <p><b>【物価例】</b>  米（鹿児島県産イクヒカリ5kg）1,880円、ガソリン（1L）150円  ※生活必需品は、定価での販売、安売りはしていません。  ※多くの方が、瀬戸内町の中心地である古仁屋市街地で買い物をしています。  ※このほか、野菜などは自家用の畑で作っている方が多くいます。近所の方と仲良くなると、野菜や魚などのお裾分けをいただけることもあります。</p>
<p>⑩これまでの移住実績</p>	<p>・直近3年間で28組52名の方が移住しています。（瀬戸内町全体）  ・加計呂麻島は移住希望者に人気の島です。</p>

<p>⑪移住を希望される方の短期滞在、 下見に対する支援の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住を考えている方のために、移住体験住宅を準備しています。（1日2,000円，1カ月50,000円，光熱費込み。利用期間は、1週間以上～6か月間の範囲内となります。）</li> <li>・家財道具が一式そろっているため、大掛かりな引越しを必要とせず、シマ暮らしを体験することができます。（バスはありますが、長期滞在の方は、バイクや車等の足を準備されることをお勧めします。）</li> <li>・今年度も移住体験ツアーを2月に実施します。詳しくは「瀬戸内町」のホームページまたは「ねりやかなや」のホームページ等にも掲載します。</li> </ul> <p>●お問い合わせ：瀬戸内町役場企画課      電話：0997-72-1112</p>
<p>⑫移住にあたっての支援の状況</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.新築住宅助成金 <ul style="list-style-type: none"> <li>・町外から定住の目的で、町内に住宅を新築した者に200万円を上限とし、助成金を交付（1回限り）</li> </ul> </li> <li>2.中古住宅購入助成金 <ul style="list-style-type: none"> <li>・町外から定住の目的で、町内の中古住宅を購入した者に50万円を上限とし、助成金を交付（1回限り）</li> </ul> </li> <li>3.加計呂麻留学制度 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学1年生～中学3年生が対象</li> <li>・生徒1人あたり月額30,000円の助成金</li> <li>・家賃の1/2（上限額11,000円）を助成 ※入居後1年間                      などがあります。</li> </ul> </li> </ol> <p>●お問い合わせ：瀬戸内町役場企画課      電話0997-72-1112  ※留学制度については、瀬戸内町教育委員会      電話0997-72-0113</p>

⑬そのほか島での暮らしぶりについて  
伝えておくべき必要な情報

- ・台風が来るとき、風が強いときは島までのフェリーがすぐ止まります。
- ・食糧の調達はまとめて冷凍！が基本になってきます。
- ・各島に小・中学校もありますが、複式学級もあります。
- ・島では子供はタマクガエネ（宝），集落みんなで見守り育てるところです。
- ・地域に溶け込むことは笑顔でいること，助け合うこと，お酒を飲むこと（？）自分にできることからよ～りよ～り（ゆっくりぼちぼち）で大丈夫です。
- ・役場も様々な支援でバックアップします！！コンビニは島にはないのでコンビニ依存の方には不向きかもしれません。
- ・移住を考えている方へは，まず，島の暮らしに馴染めるかどうか、島暮らしを体験してみることをオススメします。また、四季それぞれの島の暮らしを体験してから移住を決めるとなお良いと思います。
- ・移住体験ツアーもぜひご利用ください。
- ・また，各集落の行事，一斉清掃や寄り合いなどに積極的に参加し、自分から地域に溶け込む努力をすることが大切です。

●お問い合わせ：瀬戸内町役場企画課 電話0997-72-1112